

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		跳び箱運動の上達を目指す指導
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	跳び箱運動
	授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を通して身体の動かし方の全体をイメージすることができるようにする。</li> <li>・動画を見て、各々どのような動きをするのか分かるようにする。</li> </ul>
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ( 1・2・3 )年 ( 26 )人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/> その他(発達障害等)
	子供の困難さ	<input checked="" type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input checked="" type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・イラストや教師の試技を見て、動きに注目したりイメージを持ったりして実際に動くことが難しい。また、手の着き方や足の踏み込み方、動きなどの細かい動きに注目することが難しい児童が多い。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・視覚支援を用いることで、身体の動かし方をイメージできるようにする。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器:iPad アプリケーション:iMovie ショートカット 
授業展開	授業展開・支援の手立て	2学期の初めに行ったマット運動のとき、動きをイメージさせることが難しく悩んでいた1年生のクラスの授業において、スマートフォンで撮った動画を実際に見せて指導を行った。動画の視聴は、特に注目させたい部分を繰り返し見せたり、ズームアップしたりすることができる。また、自分自身が映っている動画に興味を示し、よく見て動きを覚えて直ぐに動いたり、動画を見ながら一緒に動いたりすることができ、その結果、できる動きが増えたり、意欲を持って運動したりすることができた。 そこで、跳び箱運動で、跳び方の違ういくつかのコーナーを設定し、動きを取り込んだiPadを各クラスで活用した。各クラスの教師が1台ずつiPadを持ち、それぞれのコーナーで実際に児童が跳び箱やジャンプなどをする前に、動画を見せて動きを確認した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	動きのイメージをもつことができず、なかなか取り組むことができなかった児童が、iPadの動画を見て、できなくても動きに挑戦しようとするようになった。また、実際に跳び箱が跳べるようになった児童もいた。ほとんどの児童に有効であったと思われる。 iPadを家庭等で余暇の時間に使用している児童の中には、iPadは遊ぶためのものという意識がある児童もいて、数人の児童に対しては活用することができなかった。